

かがやきジェットヒーター取扱説明書

【キキ君】【ララちゃん】

(前面加温タイプ・全周囲加温タイプ共通)



ストーブヒーター暖房器具レンタル専門店

笑顔のボタンタッチ
上州物産株式会社

〒379-2166

群馬県前橋市野中町369-2

TEL : 027-289-6080

FAX : 027-289-6166

ストーブヒーター暖房器具レンタル専門店
ホームページへアクセスする場合はこちらの
QRコードを読み込んでください。



ジェットヒーター-BRITE(HRR, GHR)をお使いの皆様へ

使用地域の標高を必ずご確認ください

標高 800m を超える場所では使用禁止。燃焼空気不足により異常燃焼の原因となります。

- 使用する地域の標高を必ず確認し、標高 500m ~ 800m で使用する場合は標高設定してください。
- 標高が分からない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 標高による空気密度に応じた燃焼に設定しています。
- 標高設定しない場合、燃焼空気不足による異常燃焼の原因となります。
- 標高 500m 未満で使用する場合、設定の必要はありません。(工場出荷時)

標高設定のしかた

(標高 500m ~ 800m で使用する場合)

- 1) 火力 / 温度調整の **+** ボタンを押しながら、電源プラグをコンセントに差し込む。
- 2) 「ピッ」音が鳴り、デジタル表示部に室温が表示されるまで、押し続ける。

標高設定解除のしかた

(標高 500m 未満で使用する場合または、工場出荷時に戻す場合)

- 1) 火力 / 温度調整の **-** ボタンを押しながら、電源プラグをコンセントに差し込む。
- 2) 「ピッ」音が鳴り、デジタル表示部に室温が表示されるまで、押し続ける。

確認方法

※標高設定は、停電や電源プラグを抜いた場合でも記憶しています。

運転中の火力ランプで設定を確認することができます。

点灯：標準 (工場出荷時)

点滅：標高設定

スイッチパネル (イラストは HRR480)



目次

メーカー取扱説明書

返却時の梱包手順 37

梱包時 PP バンドの使用法 40

燃料は必ず良質の灯油 (JIS 1号灯油) を
使用してください。



取扱説明書

業務用油だき可搬形ヒーター・放射式直火形

オリオンジェットヒーター BR TE「*Kagayaki*」

GHR240A1-R GHR240A1-G



GHR240A1-R



GHR240A1-G



- この機械は「業務用」ヒーターです。家庭用として使わないでください。
- 火力が強いため、火災、一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- この取扱説明書をよく読んでヒーターを正しくお使いください。
- 取扱説明書は必ず保管しておいてください。



ガソリン厳禁



巻末が保証書となっています。
大切に保管してください。

はじめにお読みください

このたびは、オリオン製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
より安全に、また良好な状態でお使いいただくために、この「取扱説明書」をお読みになり、正しくお使いください。

安全上のご注意

ご使用前に「安全のため必ずお守りください」をよくお読みの上、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、 危険  警告  注意に区分して表示してあります。



危険

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重症を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定されるもの




警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重症を負う可能性、または火災の可能性が想定されるもの










注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定されるもの

また、 注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

- ・ 取扱説明書をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- ・ お使いになっている製品を譲渡されたり、貸与されるときには、新しく所有者となられる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところに添付してください。

■ 図記号について

	 記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれているものは、その行為を表します。
	 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれているものは、その行為を表します。
	 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれているものは、その行為を表します。
重要事項	 記号は、警告・注意以外の重要な事項を示します。

も く じ





⚠安全のため必ずお守りください	3
本体警告ラベル貼付位置	9
各部のなまえ	10
使用前の準備と確認	12
使い方	15
点検・手入れのしかた	20
定期点検	22
異常のとき	23
保管のしかた	25
消耗部品	26
オプション部品	27
廃棄について	27
アフターサービス	28
仕様	29
外形図	30
配線図	31

安全のため必ずお守りください

使用上の注意 (危険)

この章に記載する事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための安全上の重要事項です。この製品を使用する前にお読みになり、必ずお守りください。





危険

	<p>ガソリン厳禁 灯油 (JIS1号) を必ず使用してください。ガソリンなどの揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。爆発、火災の原因になります。</p>
	<p>可燃性ガス及び引火性液体厳禁 可燃性ガスを発生するもの (シンナー、ガソリン、LPGなど) を使っているところや置いてあるところでは、ヒータを絶対に使用しないでください。爆発、火災の原因になります。</p>
	<p>換気必要 使用中は 1 時間に 1~2 回必ず換気してください。換気せずに使用し続けると、酸素不足により不完全燃焼し、一酸化炭素中毒による死亡事故につながり危険です。</p> <p>密閉された空間での使用厳禁 換気が十分行われない場所で使用し続けると、酸素不足により不完全燃焼し、一酸化炭素中毒による死亡事故につながり危険です。新鮮な空気が常に供給できるように、空気取入口や排気口を必ず設けてください。</p>
	<p>改造厳禁 改造は絶対にしないでください。製品故障の原因になるばかりでなく、火災・やけど・不完全燃焼による中毒など、重大な事故の原因になります。</p>

安全のため必ずお守りください

使用上の注意 (警告)

警告

	<p>変質灯油、不純灯油使用厳禁 変質灯油や不純灯油は使用しないでください。異常燃焼や火災の原因になります。</p> <p>スプレー缶厳禁 スプレー缶など密閉容器を暖めたり、熱風の当たるところに放置しないでください。熱でスプレー缶などの圧力が上がり、爆発し危険です。</p> <p>可燃性粉塵厳禁 可燃性粉塵(木くず、紙くず、繊維くず、鉄粉など)が発生するところでは使用しないでください。ヒータに吸い込まれると、加熱され火の粉になって噴き出されるので、火災の原因になります。</p> <p>水のかかるところ、湿気の多いところでの使用禁止 本製品は屋内仕様です。雨水、雪などのかかるところ及び湿気の多いところでは使用しないでください。また、濡れた手で操作しないでください。故障や感電の原因になります。 ※ご使用に適さない場所 例：プール施設等の高湿度環境下での使用</p> <p>空気取入口及びガードをふさがない 空気取入口やガードをふさがないでください。また、周囲のシート等が空気取入口に貼り付かないように注意してください。異常燃焼や火災の原因になります。</p> <p>電源コードを破損させたり加工しない 電源コードに重いものを載せたり、加熱したり、引っばったり、はさみ込んだり又は加工しないでください。電源コードが破損し、感電や火災などの原因になります。</p> <p>衣類の乾燥厳禁 衣類などの乾燥には使用しないでください。衣類が落下して火がつき、火災の原因になります。</p> <p>車両への据え付け、積載したままでの使用禁止 車両への据え付けや積載したまま使用しないでください。故障や火災の原因になります。</p>
	<p>回転部に手を入れない 回転部に手を入れないでください。回転中の対流ファンに触れるとケガの原因になります。</p>
	<p>正常燃焼の確認 使用するたびに正常に燃焼していることを確認してください。(20ページ「点検・手入れのしかた」参照) 炎の飛び出し、におい、すすの発生など異常を確認したときは、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店にご相談ください。また、エラーコードを表示した場合は、故障・異常早見表に従って確認や処置を実施してください。(23、24ページ「故障・異常早見表」参照) 異常のまま使用を継続すると、ヒータ本体の焼損や火災の原因になります。</p>
	<p>点検、手入れ時、電源プラグを抜く 点検、手入れ時及びオプション部品の取付の際には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。感電や対流ファンによるケガの原因になります。</p>

安全のため必ずお守りください

使用上の注意 (警告)

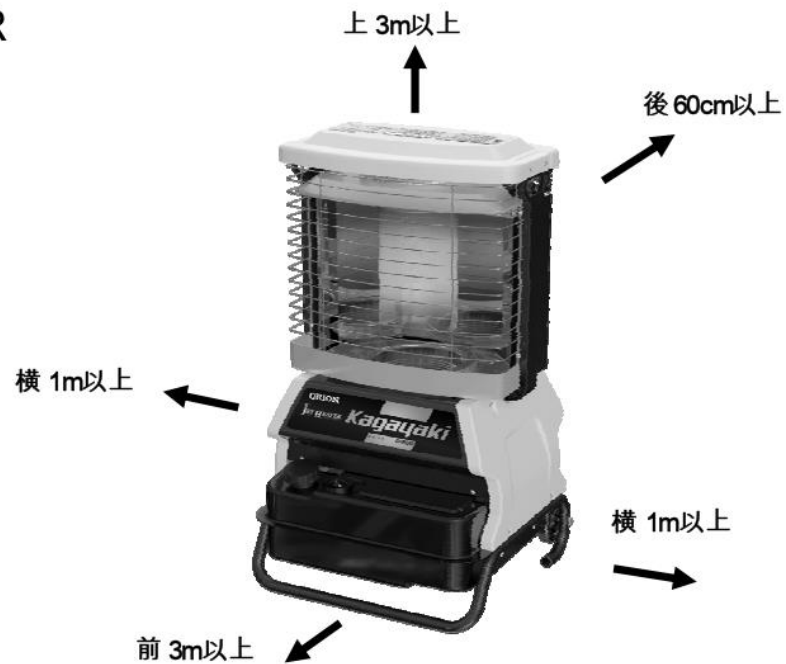
⚠ 警告



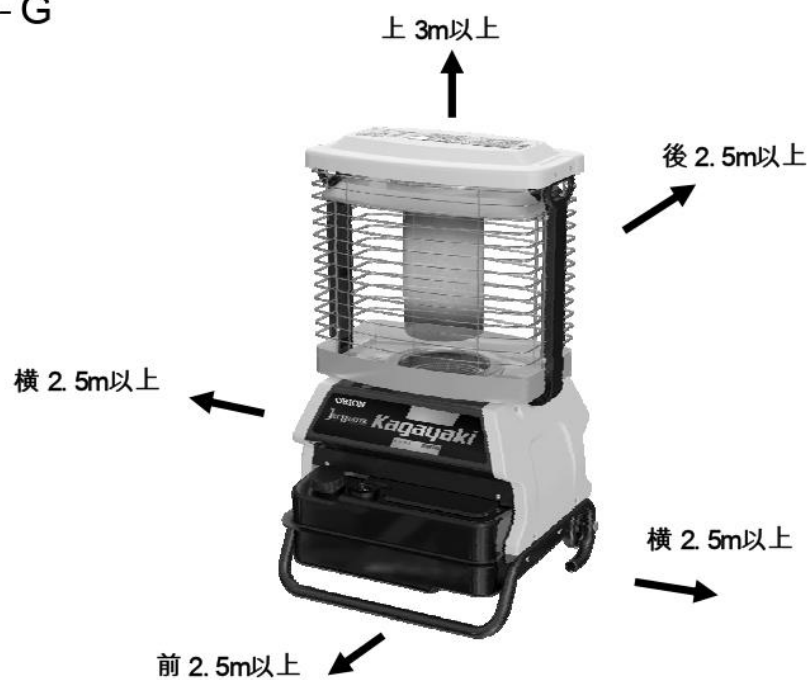
周囲の可燃物に注意

ヒータ周囲の天井、壁面等の可燃物との距離は、下図の距離を確保してください。また、床面等が高温にならないように注意してください。火災の原因となります。

G-R240A1-R



G-R240A1-G



安全のため必ずお守りください

使用上の注意 (注意)

注意



振動の激しいところや水平でないところでの使用禁止

振動がなく水平な場所で使用してください。振動が激しい場所や水平でない場所で使用すると、ヒータが移動したり転倒したりして、火災の原因になります。

通路や子供のいる場所での使用に注意

階段、避難口及び部屋の出入口などでは使用しないでください。人がぶつかり、やけどなどの事故の原因になります。また、子供のいる場所では、ガードを設置したり管理者をおくなどして、特に安全管理に注意してください。

風に注意

風の強い場所では使用しないでください。異常燃焼や火災の原因となります。

磁気や高周波に注意

磁気や高周波の強い場所では使用しないでください。予期せぬ製品の誤動作等により火災等の事故の恐れがあります。

腐食性ガスに注意

腐食性ガスの発生するところでは使用しないでください。製品の故障や漏電による感電、火災の原因になります。

電源プラグでの消火禁止

電源プラグを抜いて消火しないでください。また、冷却運転中に電源プラグを抜かないでください。冷却が不完全となり、火災、やけど、焼損の原因になります。

燃焼中の移動禁止

ヒータを火のついたまま移動しないでください。やけどの恐れがあります。転倒すると火災の原因になります。

灯油を入れたまま保管、廃棄しない




保管及び廃棄するときは必ず油タンクを空にしてください。油タンク内の灯油が漏れると環境汚染や火災の原因になります。また、長期間保管した灯油を使用すると不完全燃焼の原因になります。

シリコン配合製品を使用しない。

シリコン配合製品 (防水スプレー、艶出し剤、離型剤、ヘアトリートメントなど) を、ヒータの近くで使用しないでください。点火ミスや途中消火などの原因になります。




安全のため必ずお守りください

使用上の注意 (注意)

	<p>ほこりや粉塵の多い場所での使用禁止 ほこりが堆積する場合や粉塵が浮遊している環境では使用しないでください。ヒータ内部にほこりや粉塵が堆積し、異常燃焼や故障の原因になります。</p> <p>腰をかけたり物をのせない ヒータの上ののったり、腰をかけたりしないでください。ヒータの故障や、やけどの恐れがあります。ヒータの上に、花瓶や水を入れたものなどを置かないでください。水がかかると、漏電や故障の恐れがあります。</p> <p>反射板、ガードを取り外しての運転禁止 反射板 (Rタイプのみ)、ガードを取り外した状態では運転しないでください。やけど、火災の原因になります。</p> <p>標高の高いところでの使用禁止 標高 800m以下で使用してください。800mを超える場所で使用すると、燃焼空気量不足により異常燃焼の原因になります。</p>
	<p>やけどに注意 燃焼中や消火直後は、天板、ガード、フレームは高温になっています。燃焼中及び消火後 30 分間は手をふれないでください。やけどの恐れがあります。</p>
	<p>電源に注意 電源電圧は AC100± 10V の範囲内で使用し、AC200V 電源には絶対に接続しないでください。制御基板が故障します。また、タコ足配線はしないでください。故障や感電、火災の原因になります。</p> <p>ほこりの除去 フィルタは週 1 回以上必ず清掃してください。また、フィルタ清掃お知らせ表示のときも速やかに清掃してください。ごみ、ほこりなどでフィルタがつまると、異常燃焼の恐れがあります。</p> <p>動物飼育施設での使用に注意 下記内容が想定されますので、特に注意して使用してください。 ・ 敷きワラ、オガ粉等の可燃物は火災の恐れがありますので、特に注意してください。 ・ 換気が不十分になると酸欠や一酸化炭素中毒により家畜が死亡する恐れがありますので、使用中は 1 時間に 1~2 回換気をしてください。 ・ 安全装置の作動などによりヒータが自動消火し家畜が凍死する場合も想定されますので、使用中は定期的に運転状態を確認してください。 ・ 家畜がヒータを倒したり壊す等して、火災の原因になったり、家畜が長時間温風にあたり低温やけどや脱水症状になる恐れがありますので、家畜がヒータに近づきすぎないように、柵などの施設を設置してください。</p> <p>周囲温度に注意 周囲温度は -20°C ~ 30°C の範囲で使用してください。30°C を超える温度での使用はヒータが過熱され、火災の原因になります。</p> <p>給油時消火 必ず消火してから給油してください。火災の原因になります。</p>

安全のため必ずお守りください

使用上の注意 (注意)

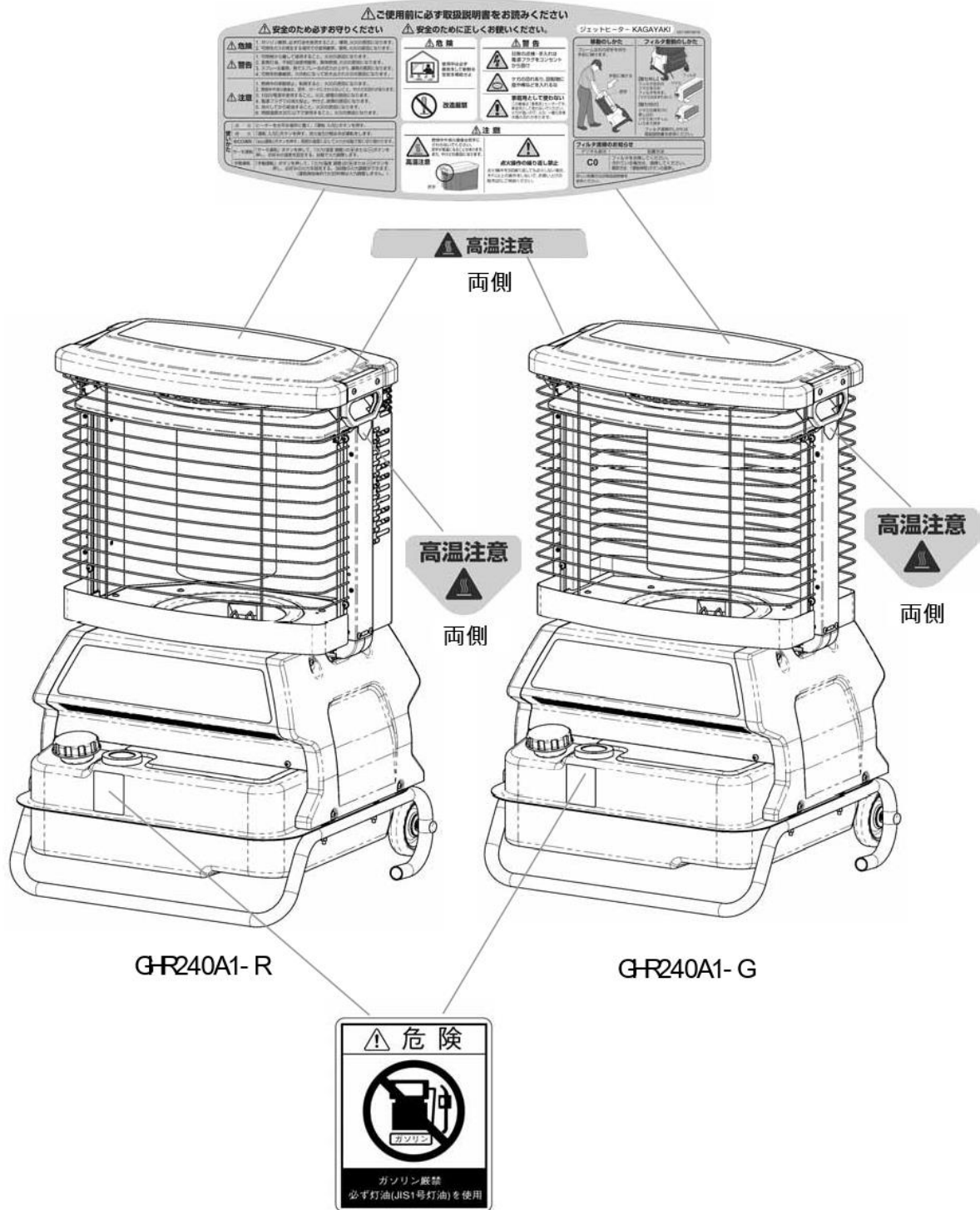
	<p>自動車運搬時に注意 自動車に積載して運搬するときは、灯油を抜き、転倒防止の処置を行ってください。転倒や振動により油タンク内の灯油が漏れると火災の原因になります。</p> <p>点検時は保護手袋着用 ヒータの清掃や点検の際は、ケガの防止のため、軍手などの保護手袋を着用して作業してください。</p> <p>標高を確認し、正しく設定する 使用する地域の標高を確認してください。標高 500m~ 800mで使用する場合は正しく設定してください。(14 ページ「標高設定のしかた」参照) 異常燃焼による故障や火災の原因になります。</p> <p>電源コードは先端のプラグを持って抜く コードを持って抜くと、芯線の一部が断線して、発熱・発火などの原因になります。</p> <p>消火の確認 消火をしたときは、火が完全に消えていることを確認してから離れてください。火がついたままだと、火災の原因になります。</p> <p>持ち上げ移動する場合は二人作業で行なう ヒータを持ち上げて移動する場合は灯油を抜き、タンク部の脚を持ち、二人で行ってください。一人作業で行うとケガの原因になります。</p> <p>延長コードは許容電流を確認し、正しく使用する。 延長コードを使用する場合は、許容電流を確認してください。(19 ページ「延長コードを使用する場合」参照) また、巻いたまま、束ねたまま使用しないでください。発火・発熱などの原因になります。</p>
	<p>使用時以外は電源プラグを抜く 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や漏電火災の原因になります。</p>
	<p>アースは必ず接地 ヒータを使用するときはアースコードを必ず接地してください。(15 ページ「点火のしかた」参照) 感電の原因になります。</p>

本体警告ラベル貼付位置

使用上の注意 (本体警告ラベル貼付位置)

⚠ 本体警告ラベル貼付位置

次の警告ラベルは、重要警告事項の中から特に重要なものとして厳選されており、ヒータ本体に貼付されています。ご使用前に必ずお読みください。また、汚れや傷などで見えにくくなった場合には、お買い求めの販売店に連絡し、新しいものと貼り替えてください。(有償扱いとなります。)

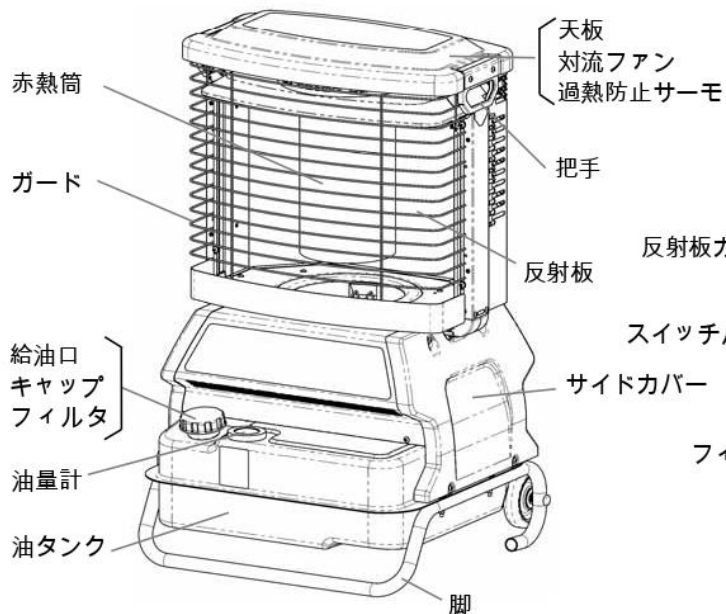


各部のなまえ

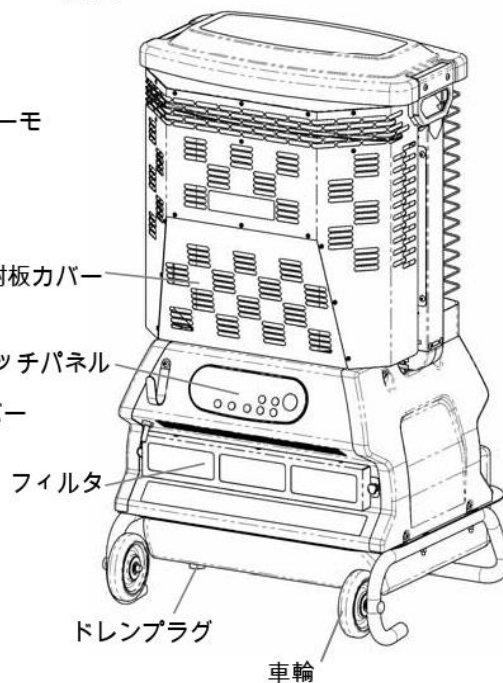
外観

■ 外観 (イラストは GR240A1-R)

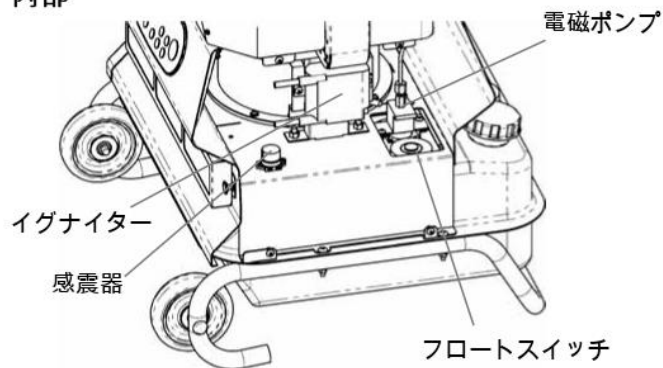
・ 前面



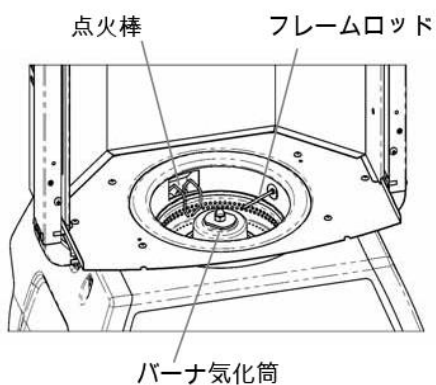
・ 裏面



・ 内部



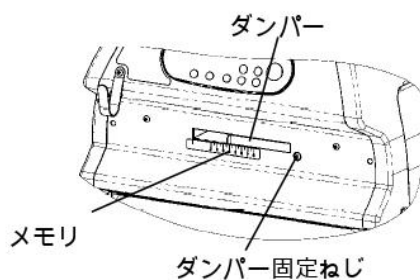
・ バーナ部



・ 電源コード



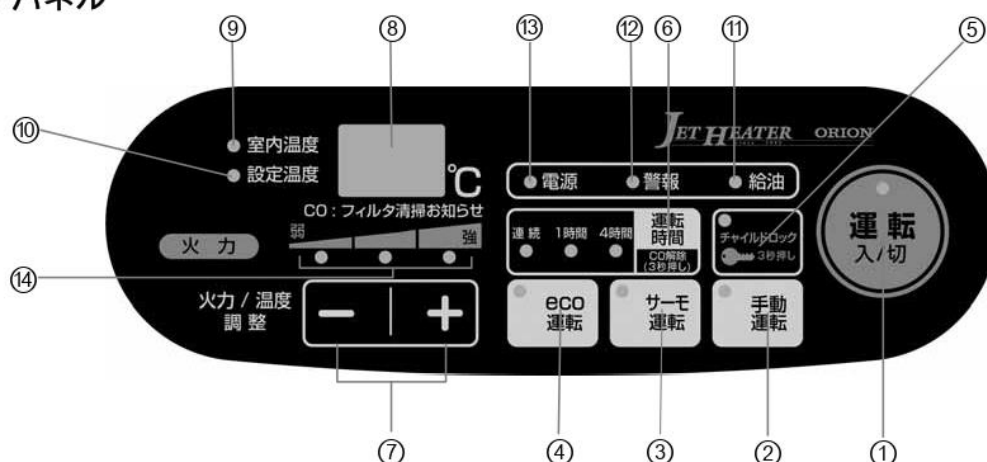
・ ダンパー部 (フィルタ内部)



各部のなまえ

スイッチパネル

■ スイッチパネル



①「運転 入 / 切」	ボタン	運転開始するとき、および消火するときを使用します。
	ランプ	運転しているときに点灯します。運転しているときの消火動作中は点滅します。
②「手動運転」	ボタン	手動運転するときを使用します。
	ランプ	手動運転しているときに点灯します。
③「サーモ運転」	ボタン	サーモ運転するときを使用します。
	ランプ	サーモ運転しているときに点灯します。燃焼停止中は点滅します。
④「eco 運転」	ボタン	eco 運転するときを使用します。
	ランプ	eco 運転しているときに点灯します。
⑤「チャイルドロック」	ボタン	チャイルドロックのセット、及び解除するときを使用します。
	ランプ	チャイルドロックのセットをしているときに点灯します。
⑥「運転時間」 「∞ 解除」	ボタン	運転時間を設定するときを使用します。 フィルタ清掃お知らせ中に 3 秒間長押しすると解除します。
	ランプ	設定されている運転時間を表示します。
⑦「火力 / 温度調整」ボタン		手動運転中に火力及びサーモ運転中に温度を設定するときを使用します。 「+」: アップ方向、「-」: ダウン方向
⑧デジタル表示部		運転中は室内温度を表示します。温度設定時は設定温度を表示します。 マイナス温度のときは「Lo」と表示します。 フィルタ清掃お知らせのときは「∞」と表示します。 異常が発生したときはエラーコードを表示します。
⑨「室内温度」ランプ		デジタル表示部に室内温度が表示されているときに点灯します。 -10℃以下のときに点滅します。
⑩「設定温度」ランプ		デジタル表示部にサーモ運転時の設定温度が表示されているとき点灯します。
⑪「給油」ランプ		油タンクの燃料が少なくなったときに点滅します。60 分後、火力「1」運転を行います。その後、アラーム音が 2 分間隔で鳴り、自動消火します。
⑫「警報」ランプ		正常に運転を開始しない、又は異常により停止したときに点滅します。 フィルタ清掃お知らせのときに点滅します。
⑬「電源」ランプ		電源が通電されている時に点灯します。
⑭「火力」ランプ		運転中に現在の火力段階 (3 段階) を表示します。

重要事項

- スイッチパネルは防水構造ではありません。雨水、雪などのかからない場所でお使いください。
- つめや金属片など、とがったもので操作ボタンを押さないでください。

使用前の準備と確認

使用する場所 / 燃料 / 点火前の準備

使用する場所

注意

- 使用する地域の標高を確認してください。標高 500m~ 800mで使用する場合は、正しく設定してください。(14ページ「標高設定のしかた」参照) 異常燃焼による故障や火災の原因になります。

「安全のため必ずお守りください」をよくお読みになり、使用する場所には特に注意してください。

燃料

危険

- 灯油 (JIS1号) を必ず使用してください。ガソリンなどの揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。爆発、火災の原因になります。

警告

- 変質灯油や不純灯油は使用しないでください。異常燃焼や火災の原因になります。

■ 使用燃料について

燃料は灯油 (JIS1号) を使用し、変質灯油や不純灯油は使用しないでください。

■ 変質灯油とは

- ・ 古い灯油 (昨シーズンより持ち越した灯油)
- ・ 日光の当たる場所で長期間保管したもの
- ・ 温度の高い場所で長期間保管したもの

■ 不純灯油とは

- ・ 灯油以外の油 (ガソリン、シンナー、機械油、重油など) が混入したもの
- ・ 水やゴミが混入したもの

■ 変質灯油、不純灯油が入っているとき

- ・ 油タンク内の悪い灯油を抜き取り、良質の灯油と入れ替えてください。(22ページ「油タンクの掃除」参照)



点火前の準備

1. 梱包箱からヒータを取り出す。
(1) ヒータ各部の梱包部材や取扱説明書、付属品、チラシをすべて取り除く。
2. 据え付ける。
(1) 水平なところに置く。
(2) ヒータの近くに燃えやすいものを置いていないか確認する。

重要事項

- チラシは特に重要な項目について説明しています。内容をご確認の上、取扱説明書と共に大切に保管してください。

使用前の準備と確認

砂塵フィルタの準備 (半屋外で使用する場合など)

砂塵フィルタの準備 (半屋外で使用する場合など)

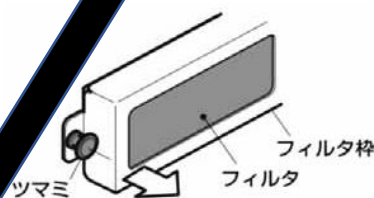
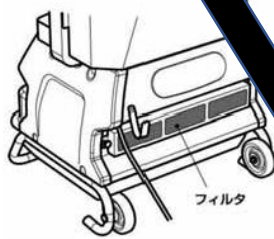
⚠ 注意

- フィルタを取り外す場合は、運転を停止した状態で電源プラグを抜いてから行ってください。
- フィルタは装着した状態でお使いください。

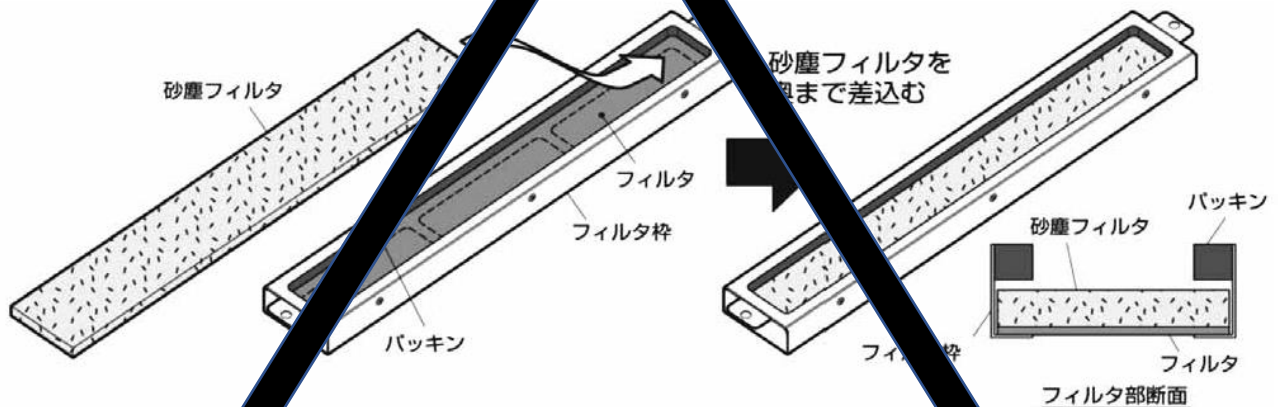
ヒータ周囲に埃がある環境で使用する場合、付属の砂塵フィルタを取り付けください。
燃烧用空気に含まれる埃や砂塵がダンプ内部に浸入することを防止します。
砂塵フィルタは水洗いが可能です。水洗いした場合は、十分に乾燥させってから装着してください。

■ 砂塵フィルタの装着方法

1. ヒータの運転を停止し、電源プラグを抜く。
2. フィルタ両端のつまみを引き、フィルタを取り外す。



3. フィルタの内側に砂塵フィルタを装着する。
4. ダンプを現在のメモリから右側へ1メモリだけ戻す。
5. フィルタ両端のつまみをガイドにして、フィルタを差し付ける。
6. フィルタ両端のつまみを「パチン」といふ音まで押し、フィルタを固定する。



■ 砂塵フィルタの手入れ方法

1. 付着した埃をエアーブローまたは掃除機等で除去する。
2. 埃の付着状態に応じて、水洗い、または中性洗剤等で押し洗いし、十分にすすぎ、乾燥させる。
※水洗いは5分程度可能です。変色、変形の場合は新品をお買い求めください。

重要事項

- 砂塵フィルタを使用した場合でも、埃の多い環境では頻りにフィルタ詰まりが発生する場合があります。本製品はご使用に耐えませんが、使用環境の見直しをご検討ください。
- フィルタ清掃お知らせが表示されましたら、速やかにフィルタ清掃を実施してください。
(2ページ「フィルタ清掃お知らせのとき」参照)

使用前の準備と確認

フィルタ清掃お知らせ周期設定のしかた / 標高設定のしかた / 給油のしかた

フィルタ清掃お知らせ周期設定のしかた

本製品には、末永くご使用いただくために、フィルタの清掃をお知らせする機能が搭載されています。フィルタの清掃お知らせは、運転した時間を積算し、設定した時間が経過すると表示されます。使用する環境により、お好みでこの設定時間を変更する事ができます。

■ フィルタ清掃お知らせ周期設定のしかた

1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. 「運転時間」ボタンを押しながら、電源プラグをコンセントに差し込む。
3. 「ピッ」と音が鳴り、デジタル表示部に現在の設定時間が表示されるまで押し続ける。
4. 火力/温度調整の「+」「-」ボタンを押し、お知らせ周期を変更する。

お知らせ周期の設定値

お知らせ周期	100 時間	200 時間	~	900 時間	お知らせ停止
デジタル表示部	10	20	~	90	0

工場出荷時：「20」表示（200 時間）

5. 「運転入 / 切」ボタンを押す。
6. 設定値が決定し、表示が通常表示に戻ります。

標高設定のしかた

標高 500m未満で使用する場合、設定の必要はありません。確認方法を参照し、標準であることを確認してください。工場出荷時は標準設定です。

■ 標高 500m~ 800mで使用する場合

1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. 火力/温度調整の「+」ボタンを押しながら、電源プラグをコンセントに差し込む。
3. 「ピッ」音が鳴り、デジタル表示部に室温が表示されるまで、押し続ける。

■ 標高 500m未満で使用する（標準に戻す）場合

1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. 火力/温度調整の「-」ボタンを押しながら、電源プラグをコンセントに差し込む。
3. 「ピッ」音が鳴り、デジタル表示部に室温が表示されるまで押し続ける。

■ 確認方法

- 運転中の火力ランプで設定を確認することができます。
- ・ 点灯：標準（工場出荷時）
 - ・ 点滅：標高設定

重要事項

- 標高設定は、停電や電源プラグを抜いた場合でも記憶しています。

給油のしかた



注意

- 給油は必ず消火してから行ってください。燃焼中に給油すると火災ややけどの原因になります。

1. 給油口キャップを外す。
2. 油量計の目盛を確認しながら給油する。
 - ・ 給油口フィルタは外さずに給油してください。タンク内にゴミ等が入りますと送油回路の詰まりの原因になります。
 - ・ いきおいよく給油すると給油口から灯油があふれることがあります。給油はゆっくり行ってください。
 - ・ 油量計の目盛が「F」を超えて給油しないでください。灯油があふれます。
3. 給油が終わったら給油口キャップを確実にしめつける。

使い方

点火のしかた

点火のしかた

注意

- 電源は AC100V です。AC200V コンセントには絶対に差し込まないでください。故障や感電、火災の原因となります。
- アースコードは必ず接地して使用してください。感電の原因になります。
- 短時間運転 (10 分以下) の繰り返し運転はしないでください。バーナ内にカーボンがたまり、点火不良の原因になります。

1. 電源プラグを AC100V コンセントに差し込む。

- ・ 全ての表示ランプが点灯します。
- ・ 「電源」、「室内温度」ランプが点灯し、デジタル表示部に室内温度が表示されます。

2. 「運転 入 / 切」ボタンを押す。

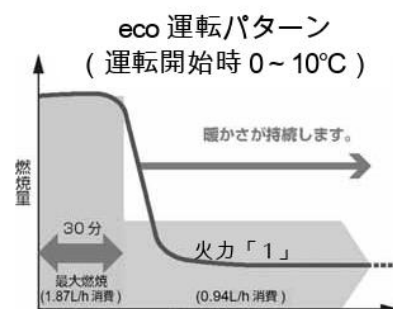
- ・ 「運転」ランプと「eco 運転」ランプが点灯し、燃烧ファンが回転し始めます。
- ・ 「火力」ランプの「中」火力が点灯し、「運転時間」ランプの「連続」が点灯します。

3. 約 8 秒後に着火します。

- ・ 着火後、約 1 分間は、火力「中」で燃烧します。
- ・ 着火と同時に、送風ファンが回転し始めます。

4. 約 2 分後、eco 運転を開始します。

- ・ 運転開始時の周囲温度に応じて、自動的に火力「3」から火力「1」に切り替わります。
- ・ 運転パターンは右図の通りです。
(運転開始後、室温が変化しても運転パターンは変わりません)
- ・ 手動運転、サーモ運転をする場合は、「手動運転」ボタン、「サーモ運転」ボタンを押します。(17 ページ「手動運転のしかた」、「サーモ運転のしかた」参照)



周囲温度と最大燃烧時間

周囲温度	最大燃烧時間
11°C以上	なし
0 ~ 10°C	30分
0°C未満 (Lo表示)	60分

重要事項

- 初めて使用したときに、けむりやにおいが出る場合がありますが、異常ではありません。
- 点火時のにおいは、異常ではありません。
- 気温の低い場合や点火初期に青火に赤火が混ざり、燃烧が安定する間の数分間は燃烧音を伴って運転することがありますが、異常ではありません。
- 省電力モード中に「運転 入 / 切」ボタンを押した場合、省電力モードは解除されますが、運転は開始しません。再度「運転 入 / 切」ボタンを押してください。(16 ページ「省電力モード」参照)
- 風が強い場合、ヒータ内部が過熱し、過熱防止警報「02」を表示する場合があります。
- 異常が発生し自動停止 (消火) した場合、23 ページ「異常のとき」を確認してください。
- 気温の低い場合など、ご使用の環境により、着火までに時間がかかることがあります。

使い方

消火のしかた / 省電力モード / 通電時の再運転モード

消火のしかた



- 電源プラグをコンセントから抜いて運転を停止しないでください。また冷却運転中に電源プラグを抜かないでください。ヒータ内部が過熱し、やけどや故障の原因になります。
- 消火時には多少においますが、異常ではありません。
- ヒータ停止直後は、ガードはまだ高温状態です。手を触れるとやけどの恐れがありますので、停止後 30 分間は手を触れないでください。

1. 「運転 入 / 切」ボタンを再度押す。
 - ・ 「電源」及び「室内温度」表示を除くすべてのランプが消灯します。
 - ・ 燃烧ファンと送風ファンは一旦回転が落ちた後、再び運転して内部を冷却します。
2. 消火を確認する。
 - ・ 約 5 分間冷却運転を行った後、ヒータは自動停止します。
 - ・ 「電源」ランプ、室内温度はそのままデジタル表示部に表示されています。

省電力モード

本製品には、ヒータを使用していない時の消費電力（待機電力）を削減するために、省電力モード機能が搭載されています。

ヒータが停止している状態で、何も操作しない状態が 5 分間継続すると、「省電力モード」となり、「電源」ランプを除く全てのランプが消灯します。

省電力モード中にいずれかのボタンを押すと、省電力モードが解除され、「室内温度」ランプ及び室内温度を表示します。

通電時の再運転モード

元電源を切らないで運転を再開した場合、前回の運転モードで運転を開始します。

運転終了後、一旦元電源を切る、あるいは電源プラグを抜いた後に運転をした場合は、eco 運転モードで開始します。

使い方

手動運転のしかた / サーモ運転のしかた / ECO 運転への切り替え

手動運転のしかた

設定した火力で運転を続けます。

1. 運転中に「手動運転」ボタンを押す。
 - ・「手動運転」ランプが点灯します。
2. 「+」又は「-」ボタンを押し、好みの火力を設定する。
 - ・火力調整は弱「1」、中「2」、強「3」までの3段階でセットできます。

重要事項

- 初期燃焼時、約1分間は、中火力に固定して予備燃焼します。この時「+」又は「-」ボタンを押して設定しますと、設定火力は変更されますが、実際の燃焼火力は「中」のままで変わりません。約1分経過すると「ピッ」と音でお知らせし、設定した火力に移行します。
- 火力変化時に数秒間黄炎が発生しても、異常ではありません。

サーモ運転のしかた

設定した温度になるように、火力を自動的に調整します。

1. 運転中に「サーモ運転」ボタンを押す。
 - ・「サーモ運転」ランプが点灯します。
2. 「+」又は「-」ボタンを押し、好みの温度を設定する。
 - ・室温の設定範囲は5°C～30°Cです。
 - ・設定温度に合わせて自動的に火力を調整します。
 - ・運転時間「4時間」ランプが点灯します。

重要事項

- 温度を設定しない場合は18°Cで自動運転します。
- 運転スイッチの切り忘れ防止の為に、サーモ運転に切り替えた場合、自動的に運転時間が4時間に設定されます。運転時間を変更する場合は、「運転時間」ボタンを押して好みの時間に合せてください。
- 設定室温の数字は室温の目安です。設置条件によっては必ずしも室温と一致しません。
- 設定温度に対し室温が2°C以上高い場合は、自動的に燃焼を停止します。また、設定温度に対し室温が2°C低くなった場合は、自動的に燃焼を開始します。燃焼が停止している間は「サーモ運転」ランプが点滅します。
- 「運転 入/切」ボタンを押してから7分間はサーモ運転を停止しません。

ECO 運転への切り替え

「eco運転」開始時の室温に応じて運転パターンを決定します。(15ページ「eco運転パターン」参照)

1. 運転中に「eco運転」ボタンを押す。
 - ・「eco運転」ランプが点灯します。

使い方

運転時間設定のしかた / チャイルドロックのセット・解除のしかた

運転時間設定のしかた

運転時間は、**連続**・**1時間**・**4時間**の中から、ご希望に合わせて選択することができます。

1. 運転中に「運転時間」ボタンを押して、希望する運転時間のランプを点灯させる。

- ・「運転時間」ボタンを一度押すたびに、**連続** → **1時間** → **4時間**の順序でランプが点灯します。

例) 「1時間」だけ運転する場合

- ・「運転時間」ボタンを押して、**1時間**ランプが点灯するようにしてください。
- ・1時間が過ぎると自動的に燃焼が停止し、**1時間**ランプが消えます。

チャイルドロックのセットのしかた

子供のいたずら操作の防止や、誤って運転ボタンを押しても点火しないようにしたいときに使用します。運転中または停止中でもチャイルドロックのセットができます。

1. 「チャイルドロック」ボタンを3秒間押し続けます。

- ・「ピッ」音が鳴り、「チャイルドロック」ランプが点滅します。

チャイルドロックの解除のしかた

1. 「チャイルドロック」ボタンを3秒間押し続けます。

- ・「ピッ」音が鳴り、「チャイルドロック」ランプが消灯します。

重要事項

- 電源プラグをコンセントから抜いたときや停電後再通電したときは、再度セットしてください。
- 運転中にチャイルドロックをセットすると、以下のボタン操作以外は受け付けません。
 - ・「運転 入/切」ボタン (消火動作を行ないます)
 - ・「火力/温度調整」の「-」ボタン (火力を下げます)
- 停止中にチャイルドロックをセットすると、セット中はすべての操作を受け付けません。

使い方

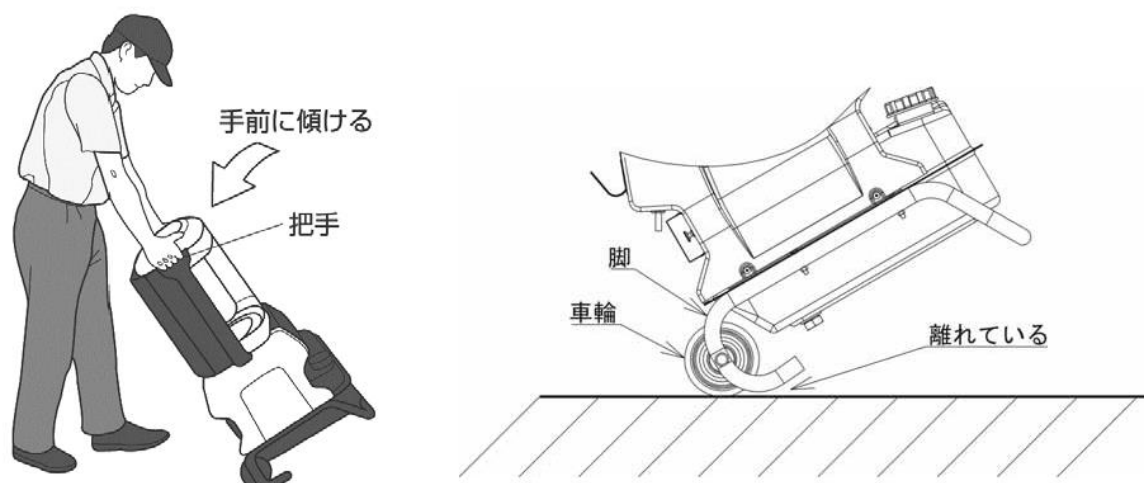
移動のしかた / 延長コードを使用する場合

移動のしかた

⚠ 注意

- 運転切後、冷却動作が終了した事を確認してから移動してください。ヒータの熱で把手が高温になっている恐れがあります。冷却が不十分の場合、やけどをする恐れがあります。
- 火のついたままヒータを移動しないでください。やけどや転倒による火災の原因になります。
- 製品を必要以上に傾けないでください。転倒により、ケガをする恐れがあります。また、油タンクから灯油が漏れ、環境汚染や火災の原因になります。

1. 把手を持ち、製品を傾けて前後へ移動してください。脚が地面より離れる程度に傾けてください。



延長コードを使用する場合

⚠ 注意

- 延長コードは許容電流を確認し、正しく使用してください。また、巻いたまま、束ねたまま使用しないでください。発熱・発火などの原因になります。

延長コードを使用する場合は、次の表を目安にしてください。

延長コードの長さ	30m	60m	90m	120m
コードの公称断面積	2mm ²	3.5mm ²	5.5mm ²	8mm ²

点検・手入れのしかた

使うたびに

使うたびに

警告

- 運転状態の確認、対震自動消火装置の作動確認を除き、点検・手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や、送風ファンによるケガの原因になります。
- 異常が認められた時は、ヒータの使用をやめ、お買い上げの販売店に連絡してください。異常のまま使用すると、ヒータ本体の焼損や火災などの原因になります。

注意

- ヒータ停止直後はガードはまだ高温状態です。手を触れるとやけどの恐れがありますので、停止後 10 分間は手を触れないでください。
- ケガ防止のため、軍手などの保護手袋を着用して作業してください。
- 燃焼状態の確認は、やけどなどの事故を防止するため、ヒータから 3m 以上離れて行ってください。
- 異常燃焼や油ダレがある場合は、電源プラグを抜かないでください。運転スイッチを切り約 5 分間の冷却運転が終わってから電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを抜いて消火すると、ファンによる冷却運転が出来ないためヒータ内部が高温になり、内部の滴れた灯油に引火し、本機の焼損や火災の恐れがあります。

1. 運転前の確認

- ・ ヒータ周囲の可燃物との距離は確保されているか。(5 ページ「周囲の可燃物に注意」参照) また、スプレー缶などが無いかな必ず確認してください。
- ・ ヒータ本体や、油タンクに油漏れや油たまり、油のにじみが無いかな確認してください。
- ・ ヒータ表面及び周囲のほこりを取り除いてください。

2. 燃焼状態の確認

燃焼中に次の異常が無いかな確認してください。

- ・ 大量の赤火、炎の欠け
- ・ 臭いがする。
- ・ ガードから頻繁に炎が飛び出す。
- ・ 異常音や異常振動する。

3. 対流ファンの確認

燃焼中に対流ファンが回転しているかな確認してください。

点検・手入れのしかた

給油のとき / 1週間に1回以上 (フィルタ清掃お知らせ (CO) のとき)

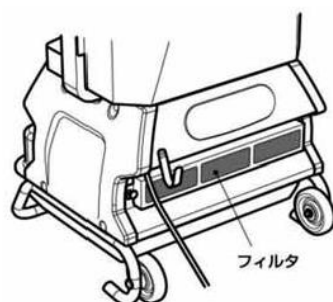
給油のとき

1. 油タンクの給油口フィルタを点検してください。
 - ・ ゴミが付着しているときは取り除き、汚れているときは灯油で洗ってください。

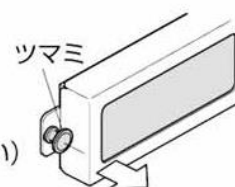
1週間に1回以上 (フィルタ清掃お知らせ (CO) のとき)

1. フィルタの清掃

- (1) ヒータ背面のフィルタ左右のつまみを引き、フィルタを取り外す。

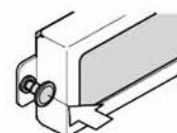


【取り外し】
フィルタ左右の
つまみを引き
フィルタを外す。
(つまみははずれない)



- (2) フィルタに付いたほこりを、エアブローや掃除機などで取り除く。
- (3) フィルタの凸部をフィルタ取り付け穴に差し込み、つまみを押す。

【取り付け】
つまみ先端を穴に
差し込む
つまみをパチッと
いうまで押す



2. 砂塵フィルタの清掃 (砂塵フィルタ取付時)

- (1) 砂塵フィルタをフィルタから取り外す。
 - (2) 付着した埃をエアブローまたは掃除機等で除去する。
 - (3) 埃の付着に応じて、水洗い、または中性洗剤で押し洗いし、十分にすすいで乾燥させる。
 - (4) 砂塵フィルタをフィルタに装着する。
- ※水洗いは5回程度可能です。変色、変形の場合は新品をお買い求めください。

3. フィルタ清掃お知らせ (CO) のリセット

- (1) 「運転時間」ボタンを3秒間長押しする。
- (2) 「ピッ」と音がなり、デジタル表示部が通常表示になっていることを確認する。

点検・手入れのしかた

1か月に1回以上 / 1シーズンに2~3回

1か月に1回以上

1. 対震自動消火装置の作動確認

- ・ 移動用把手を持って水平にゆすり、対震自動消火装置が働いて、確実に消火することを確認してください。確認するとき、高温部に手などをふれないよう注意してください。

2. 給油口キャップ通気穴の点検

- ・ 給油口キャップを外し、通気穴が詰まっていないか確認してください。
- ・ 詰まっているときは、針金などでゴミを取り除いてください。

通気穴



1シーズンに2~3回

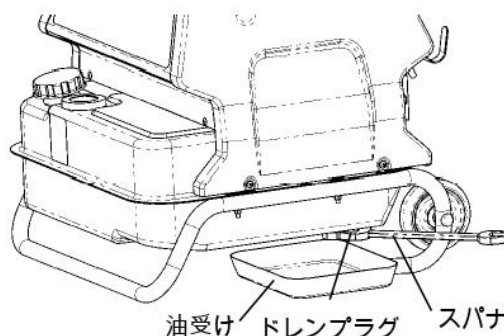
1. 油タンクの掃除（水抜き）

- ・ ヒータ保管時は必ず油タンクの掃除を行ってください。
- ・ 灯油にゴミや水が混ざっている場合は、きれいな灯油と入れ替えてください。

- (1) 油タンク内の灯油を、給油ポンプで抜く。
- (2) 油タンクのドレンプラグの下に油受けを置く。
- (3) ドレンプラグを外し、残った灯油をゴミや水とともに抜く。
- (4) ドレンパッキンが破損していないことを確認して、ドレンプラグと一緒に確実に締め付ける。

2. 電源プラグの点検

- ・ 電源プラグにほこりが付着していないか点検します。
- ・ 電源プラグをコンセントから抜き、ほこりを取り除いてください。



定期点検

長期間ご使用になりますと機器の点検が必要です。点検を受けないと、予想しえない事故が発生するおそれがあります。未然に事故を防止するため、定期点検を依頼してください。（有料となります）

■ 実施時期

2シーズンに1回程度、シーズン初め、シーズン終了時に定期点検を依頼してください。

特に、使用時間が長い場合やほこりの多い場所、湿度の高いところなどでご使用の場合は、1シーズン毎の点検が必要となりますので、お買い求めの販売店にご相談ください。

■ ご依頼先

お買い求めの販売店

■ 定期点検の内容

1. 設置状態の点検・確認
2. 安全装置及び運転状態の点検・確認
3. 環境や使用時間により劣化しやすい部品の点検・交換
4. 製品の清掃・整備

■ 定期点検費用

定期点検の費用については、お買い求めの販売店にご相談ください。定期点検の結果、部品交換および修理等が必要な場合は、処置内容および費用についてお客さまにご相談申し上げます。

異常のとき

故障・異常早見表



警告

- 次の表に従って確認や処置を実施しても改善しない場合や、原因が不明な場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店にご相談ください。異常のまま使用を継続すると、ヒータ本体の焼損や火災の原因になります。

故障・異常早見表

現象 原因	ヒータの状態						エラーコード					
	操作を受け付けない	点火不良・途中消火する	警報ランプが点滅する	給油ランプが点滅する	赤い炎が大きく伸びる	炎が飛び、においがする	00	00	01	02	03	04
電源プラグがコンセントから抜けている 電気が来ていない	●						●					
フィルタの汚れを確認する時期になった (定期的に発生します)							●					
停電があった			●					●				
ヒータが傾いている 地震や強い衝撃があった		●	●						●			
変質灯油、不純灯油の使用		●	●		●	●				●	●	
フィルタエレメントの詰り 給油口キャップ通気穴の詰り 灯油配管の外れ 電磁ポンプの故障		●	●							●	●	
点火棒の変形、イグナイタの故障		●	●							●	●	
バーナの異常過熱		●	●		●				●			
周囲温度が 30℃を超えている 停電でヒータ内部が過熱 対流ファンの回転異常		●	●		●				●			
燃焼ファンモータの回転異常		●	●		●	●			●	●	●	
室温センサの異常		●	●									
油タンクに灯油がない		●		●								
換気が不足している 埃のたつ所で使用している 標高 800mを超えた場所で使用している フィルタのごみ詰まり		●	●		●				●	●	●	
風のあるところで使用している		●	●		●	●			●	●	●	
電源電圧が高いまたは低い		●	●		●	●						
運転開始前にバーナ内に炎がある 炎検出装置の故障			●									
電源が不安定 発電機を使用している		●	●		●	●						
標高設定が不適切			●		●	●			●	●	●	
チャイルドロックがセットされている	●											
点火ミスが 3 回連続した	●		●									

異常のとき

故障・異常早見表

重要事項

- 連続 3 回の点火ミスをするると連続点火ミス「07」が表示します。解除するには、異常を取り除いたあと、特別な操作が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。
- 警報を解除する場合は、異常を取り除いたあと、『運転 入 / 切』ボタンを一度押すと警報が解除されます。運転を再開する場合は、再度『運転 入 / 切』ボタンを押してください。

エ ラ ー コ ー ド									処置の方法
05	06	07	08	09	10	11	12	13	
途中消火	疑似火災	連続点火ミス	ファン回転異常	室温センサ断線	室温センサ短絡	低電圧警報	高電圧警報	電源周波数異常	
									元電源、電源プラグの差し込みを確認する
									フィルタを点検清掃し、リセットする
									異常がないことを確認して再点火する
									水平な場所に移動する
									異常がない事を確認して再点火する
●									油タンク掃除し、きれいな灯油を使用する
●									フィルタエレメント掃除 給油口キャップ通気穴の掃除 灯油配管の締め付け 電磁ポンプ交換
									点火棒の交換、イグナイタの交換
									使用を中止して販売店に連絡する
									周囲温度 30℃以下で使用する ヒータ内部が冷えてから再点火する 対流ファンの交換
●			●						繰返し発生する場合、販売店に相談する
				●	●				使用を中止し、販売店に相談する
									給油する
●									換気を十分にする 埃の多い場所で使用しない 標高 800m 以下で使用する フィルタを清掃する
●									風のある場所で使用しない
						●	●		電源電圧 100V で使用する
	●								バーナ内に炎がない事を確認して、 販売店に相談する
								●	安定した電源を使用する
●									正しい標高に設定する
									チャイルドロックを解除する
		●							お買い求めの販売店にご相談ください

異常のとき

安全装置一覧表

安全装置一覧表

装置のなまえ	はたらき
対震自動消火装置	強い地震や衝撃を受けたときに自動消火します。
点火安全装置	点火ミス、途中消火、異常燃焼のときに自動消火します。
停電安全装置	停電後に電源が復電しても、自動的に運転を開始する事を防止します。
過熱防止装置	ヒータ内部が異常に過熱したとき、自動消火します。
過負荷保護装置	過電流が流れた場合、電気回路を遮断し運転が停止します。 雷による異常な高電圧、大電流から電気回路を遮断して制御基板を保護します。
油切れ検知装置	運転中に燃料が空に近くなったとき、警報を発し自動消火します。
高電圧停止装置	運転中電源電圧が異常に高くなったとき、運転が停止します。
低電圧警報装置	運転中電源電圧が異常に低くなったとき、警報を発し自動消火します。
ファン回転異常停止装置	燃焼ファンの回転数が異常になったとき、自動消火します。
室温センサ監視装置	室温センサが異常になったとき、自動消火します。
電源周波数監視装置	電源周波数が異常になったとき、自動消火します。

※安全装置作動後の再点火操作は、異常を取り除いた後に行ってください。

保管のしかた

注意

- 灯油を入れたまま保管しないでください。温度変化で空気が結露し、灯油内に水が溜まり、タンク底に錆が発生します。油タンクの腐食による穴あきで、油タンク内の灯油が漏れて環境汚染や火災の原因になります。
- 長期間灯油を保管すると変質し、それを使用すると不完全燃焼の原因になります。

1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. 油タンク内の灯油を抜く。
22 ページ「油タンクの掃除」に従って灯油を抜いてください。灯油を抜かないと、溜まった水により、油タンクが錆びて穴あきの原因になります。
3. ヒータ本体のほこりや汚れを取り除く。
4. シート等をかけて湿気の少ない室内で保管する。
雨水がかかったり、湿気の多いところには保管しないでください。

消耗部品

定期交換部品 / 点検交換部品

定期交換部品 (指定された時期に定期的に交換する部品)

	部品番号	部品名称	員数 / 台	交換時期
1	0A004653000	点火棒	1	3000 時間毎 (目安 : 3 シーズン)

※交換時期は、一般的な使用条件における予防保全(使用中の故障を未然に防止するために計画的に行う部品交換等)としての目安です。

※交換時期は保証期間ではありません。また、製品の使用環境、運転条件等により、交換時期に交換が必要となる場合があります。

※点火棒の交換は、専門技術を要しますのでお買い求めの販売店にご相談ください。

点検交換部品 (点検時の消耗、劣化状態に応じて交換する部品)

	部品番号	部品名称	員数 / 台	点検時期	交換判定基準
1	03109554010	赤熱筒組立	1	1 シーズン毎	破損・変形の有無
2	75000005250	フレームロッド	1	1 シーズン毎	消耗・変形の有無
3	75000005300	燃焼筒組立	1	1 シーズン毎	破損・変形の有無
4	75000005190	気化筒	1	1 シーズン毎	変形・汚れの有無
5	04107193010	補用燃焼モータ組立	1	1 シーズン毎	異音の有無 回転の状態
6	0A004070000	ファンモータ	1	1 シーズン毎	異音の有無 回転の状態
7	03038258010	給油口フィルタ	1	1 シーズン毎	破損の有無
8	03041199010	オイルキャップ組立	1	1 シーズン毎	破損の有無
9	04107576010	電磁ポンプ組立	1	1 シーズン毎	異音の有無 油量の減少
10	04107019010	フロートスイッチ組立	1	1 シーズン毎	破損の有無 動作の状態
11	03109582010	反射板組立	1	1 シーズン毎	変色の有無
12	0A004080000	ガード	1(Gタイプは 2)	1 シーズン毎	破損・変形・腐食の有無
13	04107057010	フィルタセット組立	1	1 シーズン毎	網の破れ・汚れの有無

※上記部品の交換は、専門技術を要しますので、お買い求めの販売店にご相談ください。

オプション部品

オプション部品については、お買い求めの販売店にご相談ください。

オプション部品

	部品番号	部品名称	員数 / 台	仕様
1	03109657010	収納カバー兼用ミラーシート	1	床面保護、収納用カバー 1100× 950mm
2	03109708010	ガードフェンス	1	幅 900× 高さ 900× 奥行 950mm
3	03109710010	学校向けセット	1	収納カバー兼用ミラーシート、ガードフェンス、注意プレートのセット品
4	04107102010	床保護材	1	フローリング等の床キズ防止
5	04107103010	交換用砂塵フィルタセット	1	砂塵フィルタ 5 枚セット
6	03007023010	オイルレベラー組立	1	
7	03109709010	反射板セット	1	G(ガード) タイプから R(反射板) タイプへ仕様変更する
8	04107120010	ガードセット	1	R(反射板) タイプから G(ガード) タイプへ仕様変更する

※必ず純正部品を使用してください。使用の際は、部品に付属の取扱説明書を読んで使用してください。

廃棄について

製品を廃棄するときは、油タンク内の灯油を抜いた後、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に準拠し、必ず専門の産業廃棄物処理業者に委託して処理をしてください。

アフターサービス

■ 保証について

- ・ 巻末が保証書となっています。大切に保管してください。
- ・ 保証期間中にも消耗部品等は有償となる場合があります。保証書をよくお読みください。
- ・ 保証期間経過後は有償修理となります。修理箇所及び修理内容や経過年数によっては新規購入をお奨めする場合がありますので、お買い求めの販売店にご相談ください。

■ 点検・修理を依頼される前に

- ・ 「異常のとき」(23ページ参照)に従い確認、処置をしてください。
- ・ その上で改善しない場合、またはご不明な点がある場合は、ご自身で修理なさらずに、お買い求めの販売店にご相談ください。

■ 補修用性能部品について

- ・ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ・ この製品の補修用性能部品の最長保用期間は、製造打切り後3年です。

■ アフターサービスの依頼

- ・ 点検、修理をお申しつけのときは、次の事項を、お買い求めの販売店にお知らせください。
①製品名 ②形式名 ③製造番号 ④故障(できるだけ詳しく) ⑤住所、電話番号
- ・ 部品のお申し込みをされるときは、次の事項をお知らせください。
①製品名 ②形式名 ③部品の名称、部品コード、個数

仕様

GFR240A1- R/ GFR240A1- G

■ 仕様表

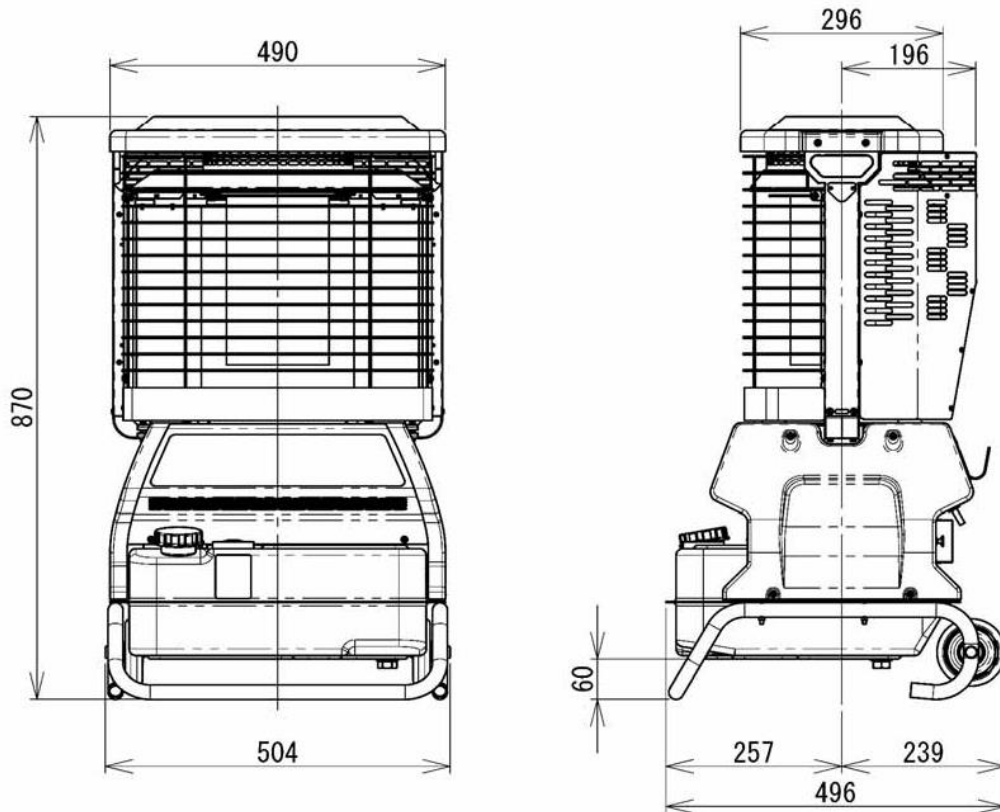
形式		GFR240A1- R	GFR240A1- G
熱出力	kW	18.2~9.1 (3段階切替え)	
使用燃料		灯油 (JI S1号灯油)	
燃料消費量	L/h	1.87~0.94	
油タンク容量	L	22	
燃焼持続時間	時間	11~23	
定格電圧及び周波数		単相 100V 50 / 60Hz	
定格消費電力 (50/ 60Hz)	W	点火時 67 / 64 燃焼時 56 / 53	
運転音 (50/ 60Hz)	dB	48 / 50	
燃焼方式		回転霧化式	
周波数切替		不要	
寸法 (高さ×幅×奥行)	mm	870× 504× 496	
電源コード長さ	m	2.5	
製品質量 (油タンク空時)	kg	30	27
安全装置	対震自動消火装置		
	点火安全装置		
	停電安全装置		
	過熱防止装置		
	過負荷保護装置		
	油切れ検知装置		
	高電圧停止装置		
	低電圧警報装置		
	ファン回転異常停止装置		
	室温センサ監視装置		
電源周波数監視装置			
異常感知表示機能 (デジタル表示)			
ヒューズ	ガラス管ヒューズ (125V、2A)		

外形图

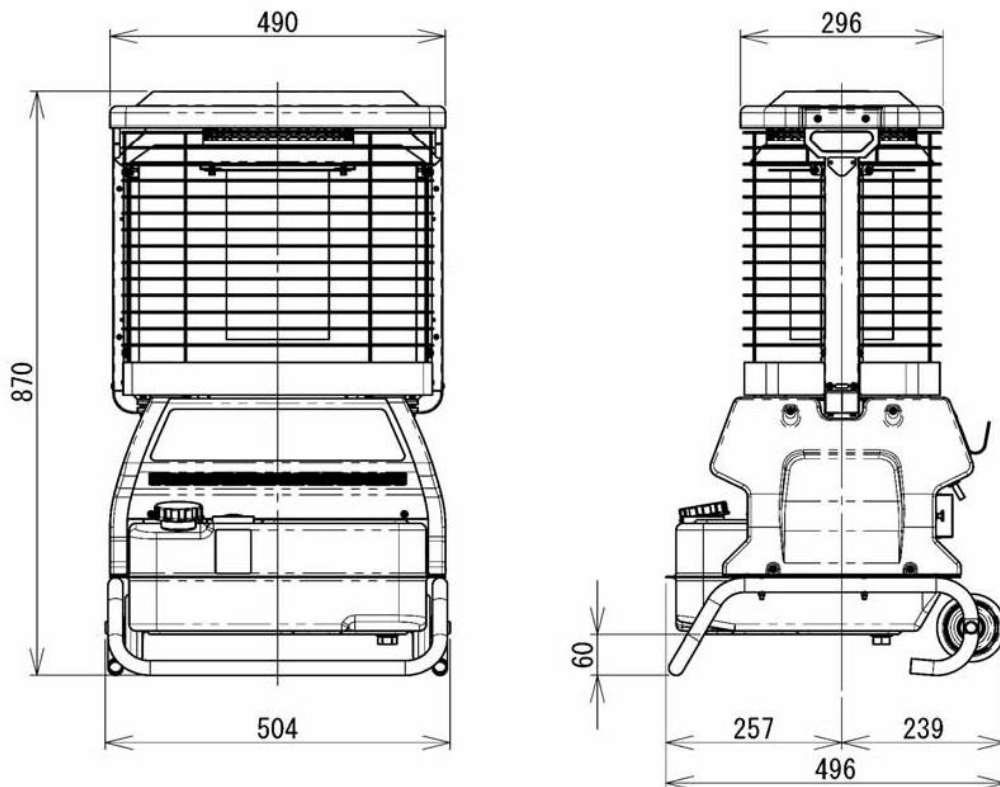
GFR240A1-R / GFR240A1-G

■ GFR240A1-R

单位：mm



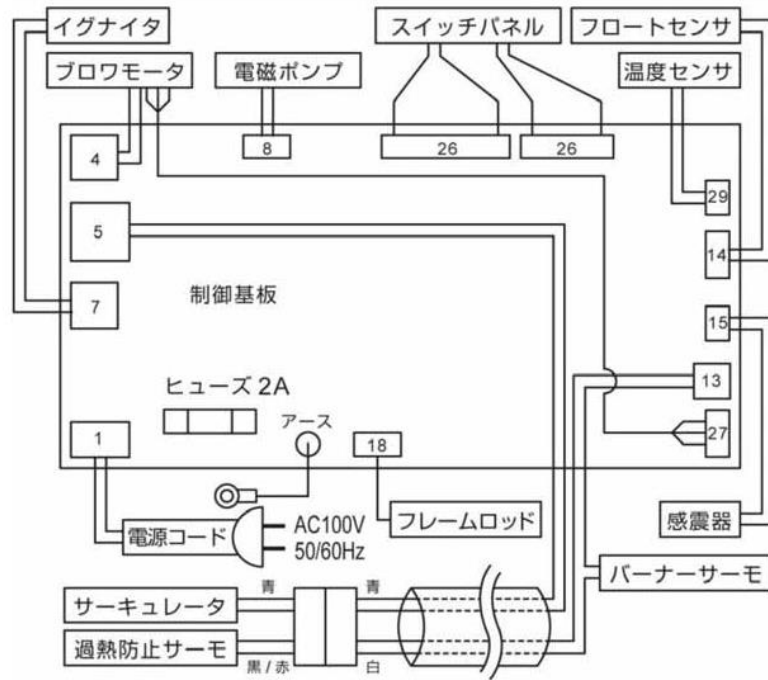
■ GFR240A1-G



配線図

GR240A1-R/ GR240A1-G

■ 配線図





オリオン機械株式会社

http://www.orionkikai.co.jp

当社製品に関するお問合せ・資料請求は

お客様相談センター

✉ sijo@orionkikai.co.jp



☎ 0120-958-076

受付時間 平日 9時～17時

FAX 026-246-6753

北海道オリオン株式会社(札幌) 011-865-3666	中部オリオン株式会社(名古屋) 0587-21-1717
東北オリオン株式会社(仙台) 022-284-0691	中部オリオン株式会社(三河) 0566-62-4377
東北オリオン株式会社(盛岡) 019-641-4554	中部オリオン株式会社(三重) 059-253-7911
東北オリオン株式会社(郡山) 024-963-1051	中部オリオン株式会社(浜松) 053-464-4737
東日本オリオン株式会社(東京) 03-3523-8881	中部オリオン株式会社(沼津) 055-929-0155
東日本オリオン株式会社(横浜) 045-934-7011	中部オリオン株式会社(金沢) 076-263-1881
東日本オリオン株式会社(八王子) 042-631-5561	関西オリオン株式会社(大阪) 06-6305-1414
東日本オリオン株式会社(千葉) 043-221-7788	関西オリオン株式会社(京都) 075-646-3939
東日本オリオン株式会社(太田) 0276-46-7678	関西オリオン株式会社(岡山) 086-246-3501
東日本オリオン株式会社(さいたま) 048-783-3975	関西オリオン株式会社(山陰) 0859-30-4103
東日本オリオン株式会社(宇都宮) 028-680-6332	関西オリオン株式会社(広島) 082-264-4535
東日本オリオン株式会社(茨城) 0299-49-1008	関西オリオン株式会社(高松) 087-835-1367
東日本オリオン株式会社(新潟) 025-260-8005	西日本オリオン株式会社(福岡) 092-477-8480
東日本オリオン株式会社(長野) 026-248-2428	西日本オリオン株式会社(熊本) 0968-38-7311
東日本オリオン株式会社(上田) 0268-22-6780	西日本オリオン株式会社(鹿児島) 099-263-5275
東日本オリオン株式会社(諏訪) 0266-58-7535	

本社工場 〒382-8502 長野県須坂市大字幸高246

更埴工場 〒387-0007 長野県千曲市大字屋代1291

千歳工場 〒066-0077 北海道千歳市上長都1051-16

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お買いあげ日		製造番号	
販売店名		店名	
		電話 () -	

返却時の梱包手順

①	 <p>A technical diagram showing a jet heater with a fuel tank and a pump. A hose is connected to the pump and is shown pouring fuel into a separate container, illustrating the draining process.</p>	<ul style="list-style-type: none">• 梱包は、ジェットヒーターが完全に冷めてからにしてください。• 電源プラグを抜いてください。• 返却時には付属の給油ポンプで、残った灯油を完全に抜いて空にしてください。
②	 <p>PPバンド</p> <p>A photograph of a blue plastic PP band (polypropylene strap) used for securing boxes. A speech bubble points to the band with the text "PPバンド".</p>	<ul style="list-style-type: none">• 地面にPPバンドを2本ひき、その上に下箱をのせてください。 <p>※下箱がマジックテープ留めになっていますので開いておくと梱包しやすいです。</p>
③	 <p>A photograph of a person in a white shirt and dark pants tilting a jet heater. The heater is on a stand with wheels and is being held by the handle, tilted at an angle.</p>	<ul style="list-style-type: none">• ジェットヒーター本体を、脚が地面より離れる程度に傾けてください。 <p>握手を持ち、製品を傾けて前後へ移動ができます。</p>

④		<ul style="list-style-type: none"> • ジェットヒーターを下箱に入れてください。
⑤		<ul style="list-style-type: none"> • ジェットヒーターを箱に入れたら、マジックテープでとめてください。
⑥		<ul style="list-style-type: none"> • 本体の上に取り扱説明書を置いてください。 <p>(給油ポンプはお客様で破棄してください。)</p>

⑦



- 梱包箱の上箱をジェットヒーター本体にかぶせてください。

⑧



- PPバンドをとめてください。

PPバンドのとめ方は取り扱い説明書最終ページにある「梱包時PPバンドの使用法」にてご確認ください。

▼返却用の伝票を指定の位置に貼り付けてください。
返却用伝票は弊社にてご用意させていただきます。
梱包の箱に貼り付けてあります。

お届け時の伝票の下にある赤い伝票が
返却用の伝票です。



梱包時 PP バンドの使用法

①



輪をつくる。

②



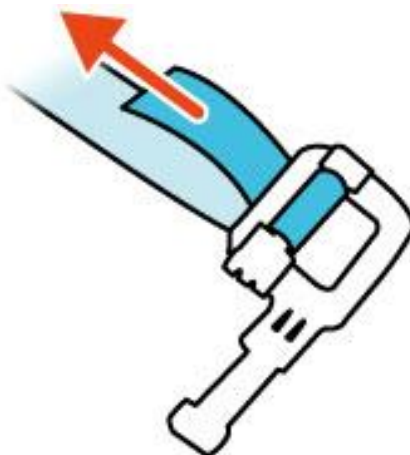
つくった輪をストッパーに通す。

③



1本の足を輪の中に折りたたむ。

④



バンドを矢印の方向に引っ張る。

⑤



荷物に回したもう片方のバンドも同様に通す。

⑥



ひもを両端に引っ張り、しっかり締める。